

第7回 多文化子育てサークル@豊田市 報告

愛知県多文化共生推進室では今年度、知立市と豊田市の2カ所で「多文化子育てサークル」を実施しており、知立市では「NPO 法人 みらい」、豊田市では「NPO 法人 トルシーダ」へ事業を委託しております。

この度、2月3日（土）14時から豊田市において第7回目のサークルが実施されました。

豊田市のサークルでは、地域の子育てサークルである「NPO 法人 森のようちえん」が御協力くださり、サークルの活動紹介と、みんなで楽しめるリズム遊びを披露してくださいました。「森のようちえん」には声楽をしているスタッフの方がおり、参加者はその歌声に合わせて「幸せなら手をたたこう」を踊るなど、大人も子どもも一緒になって盛り上がりました。また、椅子取りゲームでは、子どもたちがお互いに椅子を譲り合いながら交流しましたが、それを見守る親の間でも会話が始まるなど、交流が深まっていく様子が見られました。

リズム遊びの後は、言語別のグループをつくって、「多文化子育てサークルでこんなことをしたい」というテーマでワークショップを行いました。今年度の多文化子育てサークルについて、「子どもと一緒に歌を歌ったり、ゲームをできてよかった」「子育てのことや悩んでいることについて、いろいろな立場の人と話し合えたことがよかった」などの感想をいただく一方、今後の多文化子育てサークルについて「子どものしつけについて、話し合える場になるといい」「それぞれの子育てについて、ひとりひとり発表して話し合える場が欲しい」など、参考になる御意見もいただくことができました。また、大人だけでなく子どもと一緒にワークショップに参加し、「いろいろな国の子どもたちと知り合って、遊べて楽しかった」「もっといろいろな国の言葉を覚えたい」などの感想・意見を聞かせてくれました。そのほか、「学校で、もっと丁寧に子どもたちに教えて欲しい」「子どもが日本語でもポルトガル語でも気持ちを上手に伝えられなくなっている」など、日頃感じている悩みなどについてもお話いただきました。

ワークショップの後は、第5回サークルで撮影した写真を配布し、親子で写真を入れるためのフォトフレームづくりをしました。子どもたちはどの写真をフォトフレームに入れるのか、夢中になって選んでいました。フォトフレームづくりでは、はさみでフェルトを切るなど少し難しい作業もあったため、親子で協力しながら完成にこぎ着けました。

今回は、初参加の子どもで来日1か月目の子が参加していましたが、椅子取りゲームなど、共同の遊びをきっかけにほかの子どもたちに溶け込んでいく様子がみられ、ただ同じ空間で遊ばせるだけではなく、ゲームなどをとおした一緒に遊べるきっかけづくりの重要性が感じられる回でもありました。

さて、今回のサークルをもって本年度実施予定の「多文化子育てサークル」全てが終了しました。事業全体をとおして、延べ213組もの親子に参加していただくことができました。

手探りで始まった事業でしたが、NPO 法人みらい、NPO 法人トルシーダともに、バラエティに富んだ活動を企画・実施してくださったことで、今後、県内に「多文化子育てサークル」を普及して行くにあたり、素晴らしい事例を蓄積することができました。

本事業でとても重要だったことは、どちらのサークルでも、日本人だけが企画・運営するのではなく、外国人の方が中心的な役割を果たしておられたことです。「通訳者」として活躍するだ

けではなく、外国人親子がどのようなサークル活動を必要としているのか、どうすれば参加しやすいのかなど当事者の視点で御指摘くださったことにより、外国人参加者のニーズに沿い、これほどたくさんの方に参加いただけるサークル活動ができたと考えています。また、参加者募集の段階においても、普段関わっている多くの外国人に声をかけて参加者を増やすなど、本事業の成功において、外国人スタッフの方の存在はなくてはならないものでした。

しかしながら、こうした外国人スタッフの存在は、NPO 法人みらい、NPO 法人トルシーダそれぞれの、旧来からの活動の蓄積の賜であり、例えば保育所や日本人の子育てサークルが実施したと思っても、簡単に真似できることではありません。地域の外国人と、こうした団体とをつなぎ、誰でもサークルを実施できるような仕組みづくりを行っていく必要があると感じており、今後の課題としていきます。

さて、今年度の「多文化子育てサークル」事業はこれで終了しましたが、来年度は県内3か所で「多文化子育てサロン」事業を実施する予定です。これは、「多文化子育てサークル」に日本人親子の参加も募り、サークルを地域の多文化共生の拠点としていくことを目指した事業です。詳細は現在検討中ですが、より市町村と連携した形での実施を検討しており、今後、プレスクールと同じように、サークルを県内に広めていくための足がかりとしたいと考えております。

引き続き皆様の御理解と御協力をいただければ幸いです。

なお、本県では今月22日（木）13:30より、「外国人の子どもに対する乳幼児期からの継続的な支援に向けて」と題して、多文化子育てサークル及びプレスクールの普及に向けた説明会を実施します。本県で取り組んできた、就学前の子どもを対象にした多文化子育てサークル及びプレスクールの取組等をふまえ、愛知淑徳大学非常勤講師の松本一子先生より、乳幼児期から継続的に外国人の子どもを支援していくにはどうしたらよいかについてお話しいただくとともに、この多文化子育てサークル事業を実施したNPO 法人みらい、NPO 法人トルシーダなど、支援の第一線で活躍しておられる方々からの事例報告もごさいます。関心のある方はぜひ御参加下さい。

なお、詳細は以下のウェブページより御確認いただけます。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/29shichoson-setsumeikai.html>



